

下石田木瀬川第一樋管(白滝排水機場)

6月2日(金曜日)の記録的な大雨による大規模な浸水で、沼津市が管理する排水機場のポンプが故障したため、被害が拡大したとみられる。故障が確認されたのは大岡地区下石田の市が管理する【白滝排水機ポンプ】である。この排水機場は狩野川の水位が川に流れ込む水路よりも高くなった時に稼働し、ポンプを使って水路の水を狩野川に流している。(木瀬川地域にも木瀬川第二樋管・ポンプ場あり、正常)6月2日午後5時まえにポンプが稼働し、約30分後に突然、停止した。その後、水路から水があふれ出し、道路が冠水し、周辺のきせがわ病院南側や住宅など約30棟が浸水した。



木瀬川第一樋管



狩野川土手・配管



ポンプ・配管



国交省ポンプ車



配管(ポンプ)



白滝排水場入口



(3枚の写真は工事の様子)



また、故障したポンプは、2008年に設置され毎月行われている点検では異常無かった。だが、白滝排水機場では排水ポンプ2機が故障していることから、沼津市では8日午後、国土交通省のポンプ車2台・38台の排水ポンプを同所に設置し備えたが、狩野川の水位が排水溝を越えて上るまでにならなかったため、排水機場のポンプの修理が終るまで、大雨を前に同様の態勢を継続するとのこと。